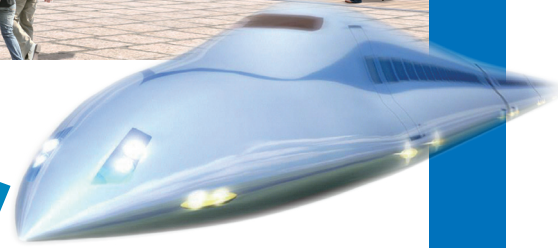
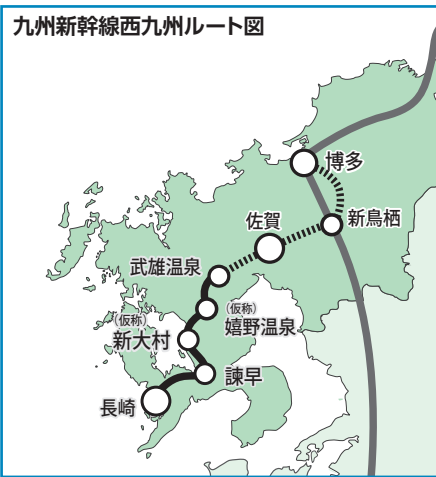




新大村駅(仮称) 駅舎外觀デザイン(提供:鉄道・運輸機構)



10万都市目指して 新幹線まちづくり加速中!



九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)は、2022年度の開業に向け、現在着々と建設が進められています。

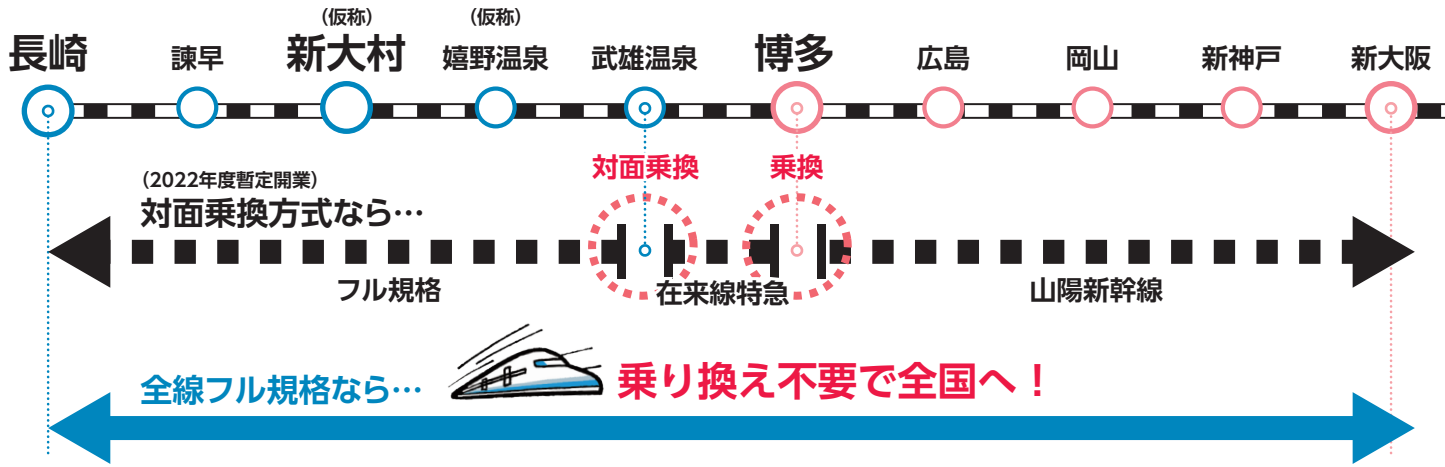
大村市は新幹線を利用して長崎県を訪れる皆さまの最初の玄関口となり、長崎空港、長崎自動車道のインターチェンジ、新幹線駅の三大高速交通拠点を有する、県内で最も交通アクセスに恵まれたまちとなります。

西九州ルートが開業すると博多駅まで約1時間13分、長崎駅まで約17分となり、これまでの所要時間が大幅に短縮されます。さらに、中国・四国・関西方面との交流人口が飛躍的に拡大し、観光をはじめとするさまざまな産業が活性化。大村市のさらなる発展、定住人口の増加などの効果が期待されます。

九州新幹線 西九州ルートの歩み

- S.48** ● 整備計画路線として決定
- H.4** ● 新ルート案(短絡ルート)を地元素として決定
- H.20** ● 武雄温泉・諫早間認可(スーパード急方式)
- 大村** ● 大村市内最初の工事に着手(鈴木トシネル他工事)
- H.22** ● 「大村市新幹線開業に向けた基本方針」を策定
- H.23** ● 「大村市新幹線開業に向けた基本構想」を策定
- H.24** ● 武雄温泉・長崎間認可(フリーゲージトレイン方式)
- 大村** ● 「大村市新幹線新大村駅(仮称)周辺まちづくり計画」を策定
- H.26** ● 「大村市新幹線まちづくり推進協議会」を設立
- 大村** ● 対面乗換方式(リレー方式)による開業に関係六者が合意
- H.28** ● 駅周辺土地区画整理事業に着手



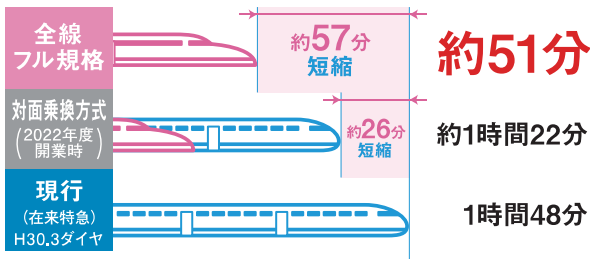


全線フル規格による整備効果

未整備区間である武雄温泉～新鳥栖間をフル規格により整備することで、既存インフラ（長崎～武雄温泉）を最大限活用でき、西九州ルートの整備効果が最も高くなります。

●時間短縮効果

《長崎～博多の所要時間(最速)》



●山陽新幹線への直通運行が可能

長崎と関西・中国方面が乗り換えなしで結ばれます。

所要時間(最速) 長崎～新大阪→約**3時間15分**

●経済性

収支改善効果→約**88億円**

投資効果(B/C)→**3.3**

B/C(ビー・バイ・シー)とは、「費用便益分析」を意味し、便益(Benefit)と費用(Cost)を比較したもの。1を越えれば費用にみあう効果がある事業と判断される。

※国土交通省試算

九州新幹線西九州ルートは、フリーゲージトレインによる運行が予定されていますが、フリーゲージトレインの完成のめどが立たないため、2022年度の開業は、武雄温泉駅での対面乗換方式(リレー方式)による暫定開業になります。

本格開業の在り方については、国などにより「フル規格」「ミニ新

幹線」といったフリーゲージトレイン以外の整備方法で検討が行われています。長崎県および大村市を含む沿線市では、西九州地域全体の発展のために速達性・定時に優れた新幹線の効果が最大限に発揮され、経済性に優れる全線フル規格による西九州ルートの整備を要望しています。

全線フル規格化を 実現させよう!



2022

大村 ↔ 日本中

ここから始まるフルをつなげる。

2022

フル規格の実現へ…

開業!!

(対面乗換方式で)

ここから始まる。フルでつなげる。

TAKAO-URESHINO-OMURA-ISAHAYA-NAGASAKI

7.11

九州新幹線西九州ルート沿線5市(長崎・諫早・嬉野・武雄・大村)で、全線フル規格化を関係省庁などに要望しました。

H.30

大村

新幹線開業アクションプラン策定委員会設置

与党PT検討委員会がフリーゲージトレイン方式を断念

全線フル規格化に向けて要望活動を展開

H.29

大村

新駅舎デザイン案が決定

与党PT検討委員会に国交省から整備方式の比較検討結果が示される(FGT・フル・ミニ)

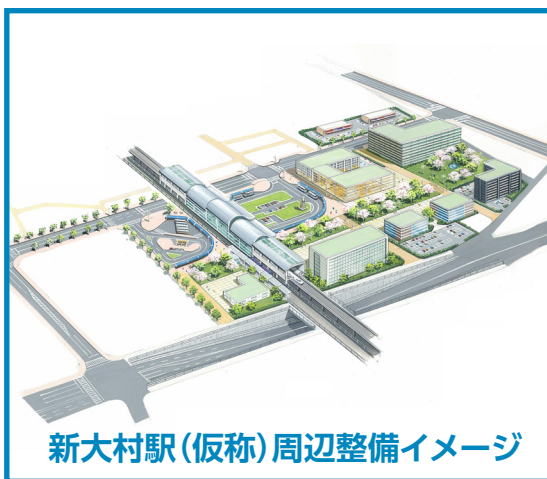
新幹線開業アクションプラン策定委員会設置

与党PT検討委員会がフリーゲージトレイン方式を断念

全線フル規格化に向けて要望活動を展開

新大村駅(仮称)を中心とした

新たな拠点づくり



新大村駅(仮称)周辺整備イメージ



大村車両基地(仮称)鳥瞰イメージ

(提供:鉄道・運輸機構)

新幹線駅は、市内を南北に走るJR大村線・竹松駅の南側に建設されます。新駅周辺は、空港、高速道路、新幹線をつなぐ「交通結節点」として、アクセス道路や東西の駅前広場を整備するだけでなく、駅利用者と住民が気軽に集い、賑う場所となる「交流拠点」として「まちなか交流公園」や「森のみち公園」の整備を行います。これらの新たなまちづくりは、積極的な民間活力の導入により、進めることとしています。

また、新幹線駅と市北部に建設される新幹線車両基地周辺には、それぞれJR大村線の駅が新設され、鉄道利用者の利便性を向上させるとともに、車両基地についても、新たな観光資源としての活用など、立地を活かした取り組みを進めていきます。

開業に向けた取り組みも始動

九州新幹線西九州ルートの開業を契機とした新幹線を活かしたまちづくりのため、市内関係団体による「大村市新幹線まちづくり推進協議会」が平成27年に設立され、官民連携の取り組みを行っています。

今年度は、同協議会内に「大村市新幹線開業アクションプラン策定委員会」を設置し、素案の策定に取り組んでいます。新幹線の開業効果を最大限にし、市内に広く波及させるために、大村商工会議所青年部を中心に、幅広い人材が参加しています。ここでは、開業までに行き届くことや開業後のまちづくりについて、大村の未来マップを描きながら、「観光」と「定住」を軸に具体的な取り組みを考え、素案に盛り込んでいくこととしています。アクションプランは、年度内に完成させ、次年度から実施していく予定です。策定の参加者は現在も募集していますので、事務局へお問い合わせください。



大村市新幹線開業アクションプラン策定委員会



7.17

「大村市新幹線まちづくり推進協議会」総会が、市内のホテルで開催されました。建設工事や新駅周辺整備の進捗状況、アクションプラン策定などについて説明し、全線フル規格化を求める決議が採択されました。



工事の進捗状況は ホームページで!

市のホームページでは、市内で進められている新幹線建設工事の概要と、進捗状況などを写真付きでお知らせしています。ぜひ、ご確認ください。



新駅周辺の整備 イメージをVR映像で!

YOUTUBE市公式チャンネルでは、新大村(仮称)駅前周辺の整備イメージのVR映像を、長崎OMURA室内合奏団の演奏に乗せて公開しています。ぜひ、ご覧ください。



車両基地付近



第1岩松トンネル



車両基地付近



竹松高架橋工事

建設工事も着々と

九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)は、2022年度の開業に向け、着々と建設が進められています。

市内では、9カ所の建設工事が行われており、そのうち3カ所の工事が完成しています。

市内の整備概要は、総延長が14,324m、うちトンネルが5,537mです。6月末現在、全体の工事の進捗は62%となっており、それぞれの工事の進捗率は下図のとおりです。

開業の1年前までには、すべての工事が完成する予定です。

新幹線建設工事進捗状況

